

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2023/10/27

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.27	0.04
JPY/THB	0.2412	0.0000
USD/JPY	150.40	0.17
EUR/THB	38.31	0.03
EUR/USD	1.0563	-0.0003
USD/CNH	7.325	-0.005
SGD/THB	26.48	0.07
AUD/THB	22.93	0.07
USD/INR	83.23	0.04
USD Index	106.60	0.07

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.926	0.018
10Y (THB)	3.348	0.023
5Y (USD)	4.797	-0.123
10Y (USD)	4.845	-0.110

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,987.2	3.1
WTI (Oil)	83.21	-2.18
Copper	7,985.5	-46.5

Stock

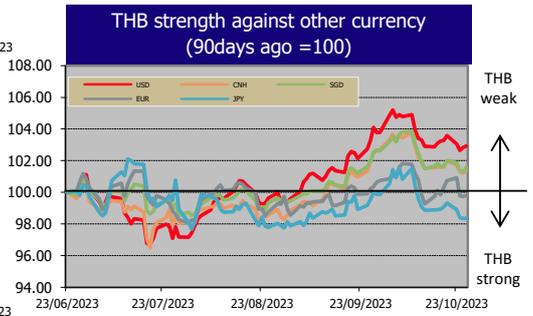
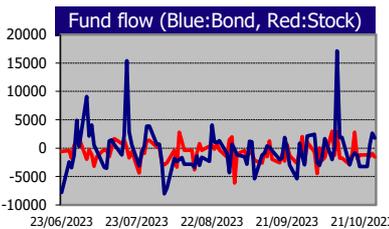
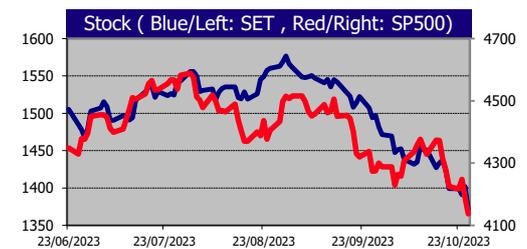
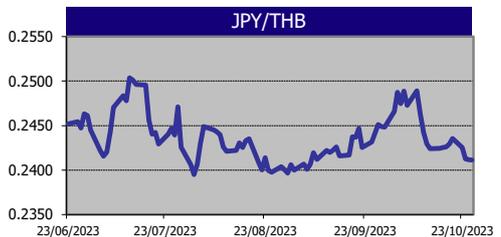
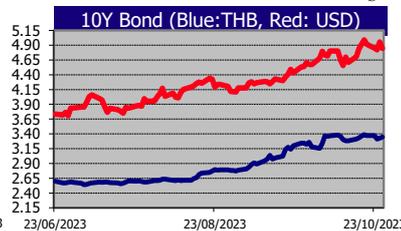
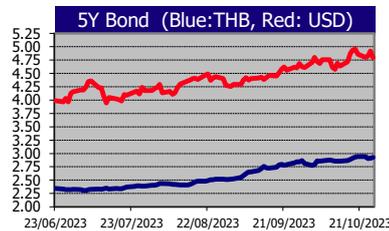
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,371.22	-30.48
NIKKEI (JP)	30,601.78	-668.14
DOW (US)	32,784.30	-251.63
S&P500 (US)	4,137.23	-49.54
SHCOMP (CN)	2,988.30	14.18
DAX(GER)	14,731.05	-161.13

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,558)	-633.5
Bond net flow	1,796	-843.4

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツはほぼ変わらず。36パーツ台前半で取引を開始すると、米金利高止まり長期化懸念からアジア通貨が対ドルで軟調な推移を見せる中、ドルパーツも上昇。ただ、バンコク時間終盤にかけて米金利の上昇一服感が見え始めると、ドルパーツもオープンと同水準程度まで戻し、上に往ってこいの展開に。海外時間に入り、米第3QGDPは市場予想を上回るも、同時に発表された米国労働関連指標が軟調な結果となり、ドルパーツ相場の反応は限定的なものに留まった。ただ、その後発表された米国住宅関連指標が良好な結果であることが確認されると、ドルパーツは小幅に反発するも、米金利の低下がドルパーツの上値を抑える格好となり、結局前日終値対比ほぼ横這いとなる36.27レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。150円台前半でスタートしたドル円は、前日海外時間終盤に明確に150円を上抜けた勢いが継続する格好で堅調な推移を見せた。ただ、バンコク時間午後150円台後半を付けた場面では特段ヘッドラインない中で149円台後半まで急落し、直ぐに150円台半ば付近まで戻す等、荒い値動きに。海外時間に入ると、米労働関連指標の予想に届かない結果が材料視され、150円台前半まで下落。その後、米住宅関連指標の良好な結果に反発を見せるも、海外時間入り後から低下を続ける米金利が上値を押さえ、ドル円の上昇も150円台半ば付近まで留まり、そのまま150.40レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日から月末にかけて日欧米主要中銀の金融政策決定会合が続く。昨日開催されたECB理事会では、事前予想通り政策金利4%（現状維持）、2022年6月以来初めて利上げを一時停止した。ラガルド総裁は会見で、ユーロ圏経済は年内は引き続き低迷する可能性が高く、経済成長へのリスクは下方に傾いていると指摘した。一方、利下げについては議論することは全く時期尚早とも述べた。また、26日米国時間発表された米3QGDPは、前期比年率+4.9%（予想：+4.5%）、前回2.1%から大きく加速し、2021年以来的急成長となった。内訳では、4%増に急加速した個人消費が寄与した。来週のFOMC会合では、政策金利据え置きがほぼ確実視されている。年内最後となる12月会合における25bp利上げの市場での織り込みは、現状20%程度だが、追加利上げの可能性は排除されておらず、引き続き注視が必要となろう。（前川）

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.